

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所  
士別市東3条北7丁目  
Tel0165-22-3100  
fax0165-23-4356

# 介助犬育成へ

## 北口道議の一般質問で、知事答弁!

### 普及の第一歩

「他県の養成施設の状況などについて調査を進め、道内の補助犬などの養成・訓練関係の方々とも意見交換をしながら、本道における補助犬の養成に向けて、検討してまいりたい。」高橋知事からこの答弁が話されると、議場から「ほ～」という歓声が聞かれました。そもそも北口道議と介助



介助犬の普及について質問する北口道議(6月22日)

犬との出会いは、一昨年の11月。現在、北海道で唯一の介助犬と暮らしている三上晶代さん(士別市在住)が、介助犬の件で高橋知事へ報告したいが、道の保健福祉部とのやり取りではなかなか日程調整がつかないとのことを知人からお聞き

### 「北口雄幸道議と語る 青空の集い」のご案内

とき:7月18日(土)15時~  
ところ:中央公園(士別市東2-5)  
会費:2,000円(小雨決行)  
主催:北口雄幸後援会

青空でジンギスカンを囲みながら、北口道議と語り合いませんか?サフォークの丸焼きや抽選など、盛りだくさん!

小雨は決行します。中止の場合は、当日の17時まで限り会場にて肉と交換できます。

【会券のお求め先】

北口事務所(東3条北7丁目)  
電話 0165-22-3100  
FAX0165-23-4356



9月13日執行の士別市長選挙に牧野勇司氏が立候補表明されました。牧野氏は、長年後援会幹事長として私を支えてくださ

### 「国民の生活が第一」を実現へ

し、一昨年の12月には保健福祉部長と懇談。昨年5月21日には、高橋知事が自ら、名寄の途中三上さん宅を訪れ、介助犬の取得のために

### 受け皿が課題

関東へ幾度となく通ったことなどをお話しされ、その普及と北海道内における育成・訓練施設の必要性について意見交換されました。

今回の答弁で、介助犬の育成に向け、一定の方向性が示されましたが、その受け皿の確保など、まだまだ多くの課題があり、今後、一日も早く育成・訓練施設ができるよう努力が必要です。

り、大切な友人の1人でもあります。

今回の市長選挙には、私も応援させていただき、是非とも勝利してほしいと思っています。

私の選挙も間もなく行われますが、ふるさともっと元気になってほしいとの思いで、牧野氏と北口道議と私の三人で力を合わせ、何としても今回の総選挙で、政権交代を果たし、「生活が第一」の政治を実現していきます。

衆議院議員 ささき隆博

# 第二回定例道議会報告(6月16日~7月3日)

昨年以來、麻生政権は、経済危機に対応するとして、衆院選を先送り、21年度当初予算を含め4度の大型予算を編成してきたにもかかわらず、経済・雇用情勢は好転せず、とりわけ道内の

情勢は厳しさを増すばかりです。こうした中、今定例会では、国の経済危機対策に対応した大型補正予算案が提案され、これに対して、経済・雇用情勢改善や道民生活の厳しさの緩和への実効性、窮迫する道財政に及ぼす影響等の観点での論議を



一般質問で農業政策や地域医療、障がい者支援を質問する北口道議(6月22日)

展開しました。また、直轄事業負担金への対応、地域医療対策、支庁制度見直しや市町村支援等についても質疑しました。なお、今議会での補正予算は、1092億円で、第3次緊急総合対策の総額を2千億円規模と想定しており、今回の補正で21年度予算総額は、一般会計で2兆9843億円となり、20年度の最終予算を上回りました。

北口道議は、6月22日の一般質問に登壇し、持続可能な農業政策について、地域医療の確保について、障がい者が暮らしやすい地域づくりについて、などを質問し、知事の考えを質しました。

## 北口道議、一般質問で

### 農業や地域医療、障がい者支援を質問

北口道議は、6月22日の一般質問に登壇し、持続可能な農業政策について、地域医療の確保について、障がい者が暮らしやすい地域づくりについて、などを質問し、知事の考えを質しました。

農業政策については、今年度末で見直される食料・農業・農村計画について、米の生産調整のあり方について、農地制度に

地域づくりについては、地域づくりに対する指針について、就労機会の拡大について、鉄道駅等のバリアフリー化について、補助金の現状と支援について、などを質問しました。

## 林活の事務局次長に

今任期も2年を終え、後期の人事が行われました。北口道議は、議会の超党派で構成する北海道森林・林業活性化推進議員連盟(通称「北海道林活議連」)の事務局次長に就任しました。また、北口道議は、農政議員連盟でも事務局次長を担っています。

## 嫌がらせの意見書

今議会最終日の3日、自民党派は、急遽鳩山由起夫民主党代表に対する意見書の採択を求めてきました。通常意見書は、最終日2日前までに提案することになっており、その慣習を無視し、数の力で意見書を採択したことは、嫌がらせ以外

の何者でもなく、それだけ追いつめられている証拠であり、一日も早い解散で政権交代が必要です。

## 採択された決議・意見書

アイヌ政策の推進を求める決議 国直轄事業負担金にかかる意見書 経済危機対策などに伴う地方負担の軽減を求める意見書 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書 新型インフルエンザ対策の充実を求める意見書 原爆症認定制度の抜本的改善を求める意見書 全国健康保険協会管掌健康保険の財源調整機能の拡充を求める意見書 新たな「食料・農業・農村基本計画」の策定に関する意見書 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書 特別支援学校の看護師配置に対する財政措置に関する意見書 難病対策の充実を求める意見書 道路の整備に関する意見書 内航フェリーなどの海上輸送による物流ネットワークの維持・確保に関する意見書 鳩山由紀夫衆議院議員の政治資金偽装献金の全容解明と明確な説明を求める意見書



写真で振り返る北口道議の活動記録(4~6月)



羊と雲の丘牧柵修復&ペンキ塗り(4/26)



道北地区のど自慢大会でご挨拶(4/12)



街宣活動で佐々木代議士の再選を訴え(5/2)



旭川地区メーデーで政権交代を訴え(5/1)



きたごりんファームで田植え(5/24)



成田家北川家結婚祝賀会で万歳三唱(5/9)



夜咲恋そらんサムライ士別お披露目(6/5)



幌延深地層研究センターで現地調査(5/25)



士別市農連で政策協定を交わし牧野氏を推薦(6/21)

士別水泳少年団(6/12)





# 北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介します。(4月～6月分)



「の〜む」の開所式に出席

**4月2日【の〜む(農夢)開所式】** 士別市農畜産物加工体験交流工房(愛称「の〜む」)のオープニングセレモニーが開催され、私も参加させていただいた(中略) この施設は、士別市農畜産物加工体験交流工房運営協議会(田中豊子会長)が、市から管理運営の指定管理を受け、管理運営を担うことになっている。テープカ

ットそして安全祈願祭終了後挨拶に立った田中会長は「体験工房建設のため、平成12年にJ A北びびき女性部で準備会を設立、今日までこの施設を熱望した。この間、様々な問題も発生したが、「夢はあきらめなければ形になる」と仲間同士で励まし合った。これからが本当の出発だ。この施設で大きな一歩を築け、交流が広がるように努力したい」との思いを込めたご挨拶をされた。その後、真新しい施設や設備を見学し、この施設が、この地方の農業の活性化につながればと思っている(後略)

**5月23日【太平洋・島サミット昼食会】** 北海道知事主催の第5回太平洋・島サミット昼食会が開かれ、私も総合政策委員として出席してきた。島・サミットは、22日と23日の2日間、上川管内占冠村において、日本及び太平洋諸島フォーラムに加盟する国や地域の太平洋12島嶼国(とっしょこく)、



太平洋・島サミット昼食会に出席

2自治地域、2カ国(豪NZ)の首脳が集まり、政治的に独立を達成した太平洋島嶼地域の諸課題の解消に向けたパートナーシップの強化などについて協議した。今日の昼食会は、諸国の首脳の方を歓迎するため道の関係者や議会などが参加して開催され、私のテーブルには、クック諸島のジム・マルライ首相とニユージールランドのマツカリ

士別産のサフォークラム肉が出され、羊肉の本場であるニユージールランド外相からも「大変美味しい」とのお墨付きをいただいた。ただ、カメラの持参を規制されており、写真で紹介できないのが残念である。(後略)

**6月1日【北星信金札幌支店開設】** 地元の金融機関である北星信用金庫が新たに札幌に支店を開設することになり、そのオープニングセレモニーに参加させていただいた。北星信金は、07年10月、士別信用金庫と名寄信用金庫が対等合併し、北星信用金庫が誕生した。そして、さらに経営力を強



北星信金札幌支店開所式に出席

化するため、企業や人口が集中する札幌市に進出することになったのだ(中略) 今日オープニングには、地元道議ということで加藤唯勝道議と私がお案内を受け、田原理事長らともテープカットをさせていただきました。今後、地域に愛される金融機関として、信頼を勝ち取ってほしいものだ。

## 【ひとりごと】

3月に行われた第1回定例議会で、「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例」が成立した。このことは、逆に言えばそのような環境に障がい者の方が置かれていない事を意味する。今回、私の一般質問で、道内465のJR駅中35駅しかバリアフリー化されていないことが判明した。当然、士別駅も跨線橋は階段であり、障がい者の皆さんからはその改善を求められている。「公共施設のバリアフリー化が一層促進されるよう国に働きかける」と知事答弁を得た。今後の一歩になればと思っている。(ゆっこ)